



発行元  
 リードあしや  
 高橋裕希  
 栗原桃葉  
 芦屋小林透子  
 中田

# 芦屋駅のまちづくり

## 芦屋の景観を守りつつ

「みんなで聞いてみよう！とところでJR芦屋駅南側、どうなっているの？」が10月24日、リードあしやで開かれた。計画が事実上ストップしているJR芦屋駅南地区の開発について、市の担当者の辻宏治さんと柴田陽子さんが説明した。

2号への道に歩道の設置や、バス、タクシーの乗降場の増設など、芦屋の快適で品格ある景観を活かした

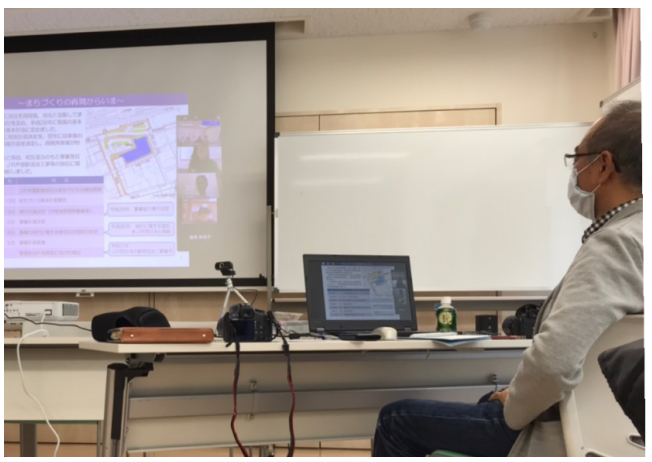
環境整備が考えられている。3月の市議会では、想定していたより事業費がかか

ってしまい、10年後の芦屋市の貯金がなくなってしまうという理由で、予算が認められなかった。現在、市はできるだけ費用を抑えようとしているところだ。確かに、道路に駐車している車も多かったり、歩道が狭く、道路を横断する人も見られるので、新しく歩道が設置されるのは嬉しいことだ。JR芦屋駅南地区のまちづくりが完成するのは令和8年度の予定だ。

芦屋市の計画では、住宅と公益施設、商業施設が一緒にになった、地上1階、地下2階のビルが建設される。駅舎はリニューアルされ、エレベーターやエスカレーターが新たに設置されるという。また、歩行者の安全性の確保のため、国道



## 安全な町づくり計画 芦屋らしい町をつくる



市の担当者の説明の後、参加した市民らが、再開発の現状や見通しについて質問した。

「なぜ南側に手をかけているのか」と言う質問に対し、駅周辺を活性化させる前に、「まずはきれいな道路にすることが大切だ」と答えた。芦屋駅南側の今の状況は、停車している車が多い。道が狭く、見通しも悪いので、安心安全とは言えない。そこで誰もが安心

できる環境を作ることは一番にすべきことだそう。町づくりをしていく上で、安心安全な環境と並んで他にも大切なことがある。それは景観を守ることだ。現在はこの2つを中心に設備の計画をしている。芦屋らしい町づくりをすることは市民にとって喜ばしいことだ。

完成予定は令和8年。参加者からは完成を心待ちにする言葉があった。